

決算審査意見書を池田竹  
州副知事(左から3人  
目)に手渡す、渡嘉敷道  
夫代表監査委員(同2人  
目)ら118日、県庁



## 24年度病院事業 赤字が過去最大 県決算審査意見書提出

県監査委員(渡嘉敷道夫代表監査委員)は8日、2024年度の県決算審査意見書を池田竹州副知事に提出した。病院事業会計の純損失は99億3858万円、診療など本来業務に関わる医業損失は174億3677万円に上り、ともに単年度で過去最大の赤字を更新した。監査委員は「極めて厳しい状況にある」と指摘した。

意見書では給与費や材料費の増加で、医業損失が増えたとした。未収金対策については、納付相談など福祉部門と連携して病院利用者に公費申請を案内し、未収金が発生した場合は督促や納付指導を行う必要があると指摘した。

一般会計、特別会計はいずれもおおむね適正に執行されたと判断した。歳入全体に占める自主財源の割合は41.3%で、前年度を2.9%上回ったが、依然として地方交付税などに大きく依存した脆弱な財政構造だと指摘した。(石井恵理菜)